

## JR貨物 環境・社会報告書 第三者コメント

### 1. JR貨物の役割

人々が生活するところには、必ず食料品や日用品などの生活物資が必要になります。また産業製品の製造には原材料や部品が必要です。ですから、日本貨物鉄道株式会社（JR貨物）は、鉄道貨物輸送を通じて人々の暮らしや経済を支えていることになります。

このため、安全で確実な輸送が期待されています。特に、近年の環境問題の深刻化を背景に、自動車輸送に比べて環境負荷がより少ない鉄道輸送が注目されているので、社会的にも大きな責任と役割を期待されていると考えて良いでしょう。

### 2. 環境に対する取り組み

今回の環境・社会報告書では、新たなサービスを生み出そうとする努力のあとが伺えます。たとえば、荷主に対してCO<sub>2</sub>排出量の算出方法をHPで提供することは、荷主への新たなサービスと考えて良いと思います。またエコレールマークにより、消費者の環境意識を喚起する運動も特筆すべきでしょう。

もちろん、山陽線の輸送力増強工事によって、東京ー九州間で1,300トン列車の直通運転が可能になったことは、環境面においてもCO<sub>2</sub>削減に寄与するものと思います。

### 3. 今後の期待

このようななかで、環境および社会という面から2つほど期待を述べたいと思います。

1つ目は、より荷主の立場に近づいてほしいということです。もちろん従来からも、鉄道コンテナを用いてドアツードア輸送を担ってきました。これをさらに発展させようとするとき、鉄道輸送を、フェリーやトラックなどさまざまな輸送機関と組み合わせながら、環境にやさしい輸送形態のメニューを増やして、鉄道を核にした複合一貫輸送の担い手となって欲しいということです。

2つ目は、より消費者の立場に近づいてほしいということです。エコレールマークは、商品にマークをつけることで、環境にやさしい鉄道貨物輸送を利用してある商品を消費者に知らせています。スーパーやコンビニなどと提携して、消費者の目にとまる環境運動を広げていくこともできそうです。

この2つを通じて、より荷主と消費者に近づくJR貨物の環境運動を期待しています。

東京海洋大学海洋工学部教授  
流通情報工学科長

苦瀬 博仁